JR加古川保線管理室が専門家と検証

線路脇の雑草 イチョウで防除

落ち葉敷き詰め、光合成阻害

氷丘南小 ごみ処分→収集に協力

JR西日本の姫路保線区加古川保線管理室が、線路脇に繁茂する雑草対策として、地域で収集されたイチョウの落ち葉を敷き詰める取り組みを進めている。雑草の光合成を阻害するほか、イチョウには周囲の植物の生育に影響を与える「アレロパシー」という働きがあるといい、同室が専門家の監修を受けて検証し、昨年12月から展開。今月12日、職員7人が加古川市立氷丘南小学校（加古川町溝之口）を訪れ、児童らが校内で拾い集めた落ち葉を受け取った。（増井哲夫）

同保線区では線路脇の除草についてコストや労働力などが課題だった。長浜哲朗室長が昨夏に長野県に帰郷した際、90代の女性の親類から「畑の近くにイチョウを植えると野菜が育たない」という話を聞き、防草に使えないかと思い付いた。

アレロパシーに詳しい藤井義晴・東京農工大名誉教授の監修の下、神戸線土山―魚住間約70㌔の線路脇で検証実験を実施。雑草を刈り取った後の土地で①除草剤散布のみ②除草剤散布とイチョウを30㌢敷き詰める③イチョウを30㌢敷き詰めるのみ―などで比較した。9カ月後、①は雑草が繁茂、②は繁茂せず、③は刈り取り不要な程度に草が生える状態で、イチョウの効果が確認できたという。

同保線区管内を中心にイチョウの有名な場所を探し、昨年12月以降、称名寺（加古川市）、社高校前（加東市）、佐用町の大イチョウなど10カ所以上で落ち葉を収集。他の線路脇でも、落ち葉を敷き詰め、ネットをかぶせていくという。

氷丘南小にはイチョウの木が7本植わる。毎年この時期、大量の落ち葉が出るが、腐敗が遅く、肥料にも使えないため、これまではごみとして処分していた。

今年11月、長浜室長が来校して取り組みについて説明し、協力を要請。収集の協力依頼を受けた原武弘校長は「ごみにするしかない物を役立てるのはSDGs（持続可能な開発目標）の学習にもつながる」と応諾した。

12日は児童、近くの幼稚園児、地域住民ら計約80人がイチョウの木の周辺で荷車2台分の落ち葉を拾い集め、同室職員がトラックで持ち帰った。

取り組みは、10月の日本鉄道施設協会の総合技術講演会で優秀賞に選ばれたほか、鉄道各社からも視察の要望があるという。長浜室長は「おばあちゃんの知恵から始まった企画がこんなに注目されるなんて驚き。地域や学校、自治体などと協力した取り組みがさらに広がれば」と期待を寄せた。

線路脇にイチョウの落ち葉を敷き詰める加古川保線管理室の職員ら＝加古川市平岡町（JR西日本提供）

イチョウの落ち葉を拾い集める児童ら＝氷丘南小学校

石 お墓の山石

夜間も子どもを見守ろう

播磨町

塾や習い事で夜間に1人で歩かざるを得ない子ども も少なくない。播磨町では、不審者に遭遇した際に助けを求めて駆け込める独自の取り組み「こどもを守る店」の輪が広がっている。夜間に営業する居酒屋など飲食店がポスターを掲示して協力。地域で子どもを見守る体制づくりを進める。

駆け込める場周知

犯協会などが取り組む「こども110番の家」もあるが、民家では夜間に施錠していることが多く、緊急時にとっさに子どもが駆け込める場所を改めて示したいと始まった。

10月から同教委が町商工会を通じて、協力店舗を募集。現在は10店舗が登録し、店の玄関口などにポスターを掲げている。町内の6小中学校でも児童生徒にアプリを通じて、緊急避難場所

再犯起こさない社会へ

第2次加古川市推進計画

来月14日まで、意見公募

加古川市は、安全安心なまちづくりや、犯罪や非行から立ち直らせて再犯者の減少を目指す「第2次加古川市再犯防止推進計画（案）」を市ホームページで公開した。同計画策定に向けて、パブリックコメント（意見公募）を実施している。

全国的な刑法犯の検挙者数が減少傾向にある中で、再犯者率は50％近くで高止まりしている。2020年3月に市は「加古川市再犯防止推進計画」を策定した。23年3月に国で第2次再犯防止推進計画が閣議決定された。

同計画の期間は25～29年度の5年。計画策定に向けて、市の関係課による「再犯防止推進計画策定連絡会議」を設置。保護司会など関係機関の意見を聞き取り、案に盛り込んだ。

計画案には再犯防止を取り巻く現状として、加古川署管内の再犯者率の推移などを掲載。第1次計画での課題、今後の方向性なども示されている。

意見の募集期間は1月14日まで。意見は提出用紙を市役所など各公共施設に設けた提出箱に提出するか、市高齢者・地域福祉課に郵送する。市ホームページの問い合わせフォームからも申し込みできる。同課☎079・427・9205

（宮崎真彦）

元プロ野球選手が指導

未就学児がボール遊び体験

播磨町

未就学児やその保護者らにボール遊びを通じて、野球に興味を持ってもらうイベント「キッズ・ボールパーク（ボール遊び教室）」が14日、播磨町総合体育館（同町本荘）であった。元プロ野球選手らが講師を務め、大きな打球を放つと、大きな歓声がわき起こっていた。同町二子の冨嶋颯太ちゃん(5)は「ボールを思い切り打って楽しかったよ」と話した。

森本さんは「子どもたちに野球の楽しさを分かってもらえることが一番。この中から1人でも多く野球をしてくれれば」と笑みを浮かべた。

（宮崎真彦）

日本料理 しげ真 079 427-4055

貴女と寄りそう ファッショナブル ステーション
婦人服飾 松原屋
加古川一番街じけまち Tel.422-3123・423-7823

いきいきガイド

地域の掲示板

加古川

木村町内会「年末餅つき大会」 30日10時～12時ごろ（材料がなくなり次第終了）、加古川町木村、木村公民館西側広場。町内会の消防班が地域の子どもたちにに餅つきを体験してもらいたいと開催。きねつき体験ができるほか、ついた餅をあんやきなこなどで食べることができる。雨天決行。同町内会の河合さん☎090・5047・3996

稲美町

傾聴講座 ①1月27日(13時半～15時)②2月3日(同)③2月10日13時半～14時半。加古、障害者ふれあいセンター多目的室。相手の気持ちに寄り添い、話に耳を傾ける会話の技術について学ぶ。①は聴き方、地域での役立て方について②は町の高齢者の現状、認知症について③は傾聴ボランティア体験や活動について講師が話す。定員20人、参加費300円（3回分の資料代）。1回のみの参加も可。1月20日までに申し込む。町社会福祉協議会☎079・492・8668

企画・制作／(株)宣通 TEL.(052)979-1602 広告
教えて!! ドクター
Q デンタルフ 磨きの前と後で につかうのが効 か。
A 歯ブラシで 丁寧に磨いたつ どうしても磨き るものです。実際 ラシだけでは

Niijima